



▲既存の部屋



▲既存間仕切りを取り払い、広い一室としたLDK。天井は角波トタン張り、床はヴィンテージ加工フロアタイル。キッチンには杉板を張り、カウンターとガス管の棚を製作。

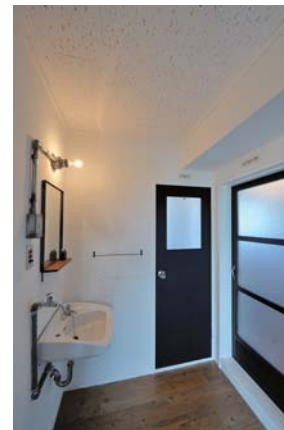


▲コンクリート柄壁。壁紙は、オランダ製《ピートブーン》CONCRETEWALLPAPER-03

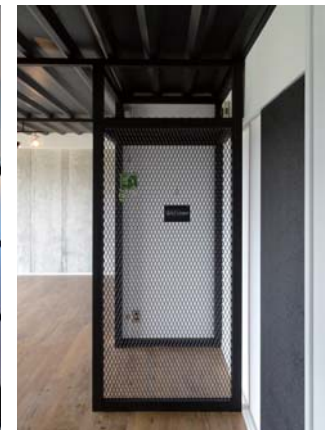
秋田市内の築38年、鉄骨造4階建て24戸のアパートのリノベーションプロジェクトです。旧来の3DKの間取りを、既存和室一室とDKの間仕切りを取り払い一体化し、2LDKに改修しました。テーマは女性目線で考える“男前な部屋”ハードな工業系のアイテムを多数取り入れ、スタジオの様な雰囲気仕上げてみました。クールな印象ですが、女性ならではのこだわりも随所に散りばめられています。既存の建物の古さをデザインに取り込み、建てた当時の懐かしみを感じながらも、これまでと異なった新鮮さを感じられる空間の創出を目指しました。



▲和室。既存畳表替えと、塗装のみのシンプルな改修とした。



▲洗面室。既存の手洗い器に合わせ、造作鏡と照明器具を新設。



▲LDKのエキスパンドメタルの衝立。冷蔵庫スペースとして新設した。

## ■特集 "K-HIGHTS Renovation"

複数のデザイナーによる実験的ローコストリノベーション事例

### >> 歴史的建造物をどう生かすか

皆様こんにちは！小野です。旭南ハイツリノベーションプロジェクトでは202号室を改修担当させて頂きました。5月と6月に行われた内覧会では沢山のお客様にご来場頂きました。ありがとうございます。秋田でもアパートのリノベーションを一同に実施した初めての試みで、リノベーションによる新築とは異なる新たなデザインへのニーズがあることを実感しました。さて、近日秋田でニュースになり、内覧会の際も話にあがりました、白井晟一設計行倉、解体にストップがかかったニュース。戦後日本を代表する建築家、白井晟一（せいいち）が設計し、湯沢市が解体の方針を固めている市役所雄勝庁舎（旧雄勝町役場）について、市内の建築団体が解体に「待った」をかけ、市は「最後のチャンス」と応諾し、建物の活用に向けて取り組み策を検討中だそうです。歴史的建造物、何とか残していきたいものです。



### >> リノベーションの可能性

こんにちは、山崎です。今回の特集にもあるリノベーションについて少し触れたいと思います。地方都市には、人が住まなくなった民家がたくさんあります。秋田もその例にもれず、ある調査によると、秋田の空き家率は約8%というデータも出ています。少子高齢化で家の引き継ぎ手がいなくなり、そのまま放置されてしまうパターンや、固定資産税の問題から空き家をそのままにするほうが有利など、様々な課題を抱えている空き家問題です。全国的に見ても、空き家をどうにか有効活用できないかということで、空き家がリノベーションされてカフェやシェアハウスなどが集まる場として生まれ変わった例などがたくさんあります。空き家再生が町おこしになっている場所もあるそうです。そして秋田にもリノベーション熱がじわじわと浸透してきているのを感じる今日この頃です。誰かに住んでもらいたい家と、より自分らしい家を探す人、その両者を引き合わせてより魅力的な住環境を提案していく。これからのリノベーションはただ建物をなおすことにとどまらず、そこに新しい可能性や付加価値を与えることが求められていると思います。そう考えてみると、空き家がただの空き家ではなく、磨けば光る原石のような宝物にも見えてきます(笑)。

### >> 編集後記

みなさん、こんにちは。6月の中旬、初夏と呼べる季節になってきました。それほど遠からず、梅雨入りしそうな予感です。前回の編集後記にて、これからの住宅に関する重要なキーワードとして、二世帯（多世帯）住宅とリフォーム・リノベーションを挙げさせていただきました。そして今回は二世帯住宅、今回はリノベーションの特集でした。いかがでしたでしょうか？リノベーションについては左欄にて山崎も書いている通りですが、ここに来て住宅の「耐震性」にも大きな注目が集まっています。先日の熊本地震では多くの木造住宅が倒壊し、その中で現行の耐震基準で建てられた木造住宅が倒壊した事に注目が集まっています。その中には、基準は満たしているが1階と2階の壁のバランスが悪いもの、住宅全体や2階の重量が過大なものなどがあつたようです。また、設計は基準を満たしても、施工がその通りに行われなければ想定した耐力が出ないのは当然の事です。基準の中の複雑な数値の操作に目が行きがちですが、それ以前に数値に表われない適切な構造計画や、力の自然な流れ方を妨げない配慮など、基本に立ち返る事がとても重要だと気付かされます。最後までお読みいただきましてありがとうございました。それでは次回どうぞお楽しみに。

### お知らせ



□第37回 回来をのぞく住宅展  
ASJ 秋田スタジオ  
フォンテ AKITA 7階 催事場  
秋田県秋田市 中通2丁目8-1  
6/18(土) 11:00~18:00 入場無料  
6/19(日) 10:00~18:00 入場無料

□パナソニック住まいづくり無料相談会  
仙台市青葉区本町2丁目4番6号  
仙台本町三井ビルディング1階  
7月9日(土) 10:00~17:00 入場無料  
(受付は16:30まで)

詳しくはこちらをご覧ください。

イベント開催地、およびその近郊の方、是非お出でいただき、お声を掛けてください。

ニュースレター  
「建築家の日常・非日常」  
発行責任者：加藤 一成  
株式会社 加藤一成建築設計事務所  
仙台オフィス  
TEL: 022-739-8931 FAX: 022-739-8932  
秋田オフィス  
TEL: 018-831-4315 FAX: 018-831-4316  
HP: <http://www.issei-design.com/>  
Blog: <http://www.issei-design.com/blog/>  
Mail: [info@issei-design.com](mailto:info@issei-design.com)



旭南ハイツ・リノベーションは、これからの時代のモデルケースとして、新聞やメディアでも大きく取り上げていただきました。